

ひまわり咲く里、芝山

山と山の間には咲き誇るひまわり……。昨年新聞にも掲載され、話題となったひまわり畑が芝山仁王尊近くに広がっています。今回の街角ズームインは、ひまわり畑についてレポートします。



右写真：農場長の太田松典さん
左写真：取材に訪れた時、ひまわりはまだ人の腰より低い高さだった（7月15日撮影）

芝山町の花畑

芝山仁王尊近くの畑に広がるひまわり畑。約5千平方メートルもの広さがある畑を管理しているのは、成田市に本社がある「株式会社エコニカル」という会社です。農場長の太田松典さんによると、昨年からは芝山町でひまわり栽培を始めたとのことでした。

4年前、エコニカルと下総高校など4者が共同で、ひまわりの種から油を搾るプロジェクトを立ち上げ、成田市内の畑でひまわりを育て始めました。「他の作物も考えましたが、ひまわり油は体にも良く、さらに景観作物としても優れています。そのため、ひまわりに決定しました」。

ひまわり栽培のノウハウを蓄積した太田さんたちは、ひまわり油を会社の事業として本格的に始めたいと考えました。成田空港周辺の騒音対策用地を借りて栽培したいと考え、空港と協議をし、栽培が決まりました。「広い土地じゃないと作業効率が悪いので、騒音対策用地が多くある芝山町は絶好の場所でした」と太田さんは語ります。

ひまわりから油を

現在畑で育てているひまわりは「春りん蔵」という品種。これは他のひまわりと比べてオレイン酸が多

く、体に良い油が搾れます。食用はもちろん、体や髪に塗っても効果があるそうです。

ひまわり栽培で苦勞するのは他の作物と同じく、やはり天気。昨年は台風の影響で半分以上が倒れてしまったそうです。「地面に付いてしまった種からは食用油を搾れません。農業は自然相手の仕事なので、その点が大変です」。

町を明るくするひまわり

昨年新聞に掲載されたことで、大勢の人がひまわり畑を見に来ました。「元々人を呼ぼうと思って育てていた訳ではなかったのですが、昨年の人出には驚きました。でも、地域の人が喜んでくれるならうれしいですね」。

最後に、これからの展望を太田さんに聞いてみました。「今の作付面積だと、まだ産業的に成功したとは言えません。もっと芝山町でひまわりを育てる人が増えて、町がひまわりで黄色く染まると素晴らしいですね」。

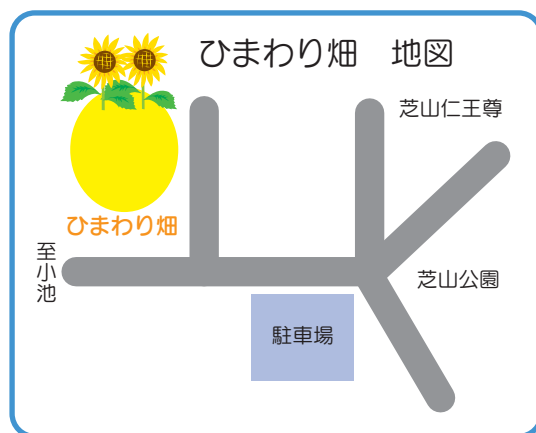
飛行機から見下ろした時、町内が黄色いじゅうたんのようになる日を、太田さんは夢見ています。

◆今年の開花時期

8月上旬から約2週間
開花状況は町ホームページで随時公開する予定です。



ひまわりの種から搾ったひまわり油



【ひまわり畑を見る際の注意】

ひまわり畑の中には入らないようにしてください。また、近隣住民の迷惑にならないよう、車は駐車場に駐車してください。

問合せ先

まちづくり課産業振興係
77-3918